

登録認定機関能力斉一化事業

目 次

1. 事前打合せ	1
2. 冊子「実地検査ハンドブック」	3
3. 研修会の開催	4
3.1 有機JAS検査員研修会	4
3.2 有機JAS判定員研修会	12
3.3 生産情報公表JAS規格研修会	18

1. 事前打合せ

登録認定機関は事業者を認定するに当たり、書類審査及び実地検査を行い認定の判断をするが、登録認定機関によって審査・検査能力や判断基準が異なると適正な制度運営に支障をきたしかねない。

そこで、個々の登録認定機関による認定業務のバラツキをなくするための講習等を行い、登録認定機関全体のレベルアップを目的として、登録認定機関の検査員及び判定員への研修会を開催した。

有機食品の登録認定機関との連携のもとで、(独)農林水産消費安全技術センターなどの関係者にご協力頂き、事前打合せを行った。

▽事前打合せ名簿

氏名	所属・役職
赤城 節子	特定非営利活動法人兵庫県有機農業研究会 事務局長
今井 悟	自然農法国際研究開発センター 理事
加藤 和男	特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会 事務局長
丸山 豊	日本オーガニック検査員協会 理事長
渡邊 義明	株式会社アフアス認証センター 代表取締役

(1) 日時

第1回 平成22年 9月1日(水) 13:30~17:00

第2回 平成22年 10月1日(金) 13:30~17:00

(2) 場所

株式会社 三菱総合研究所 2階 会議室(大手町)

(3) 概要

① 今年度の研修の方向性

検査員研修においては、これまでの座学形式とは異なり、圃場と加工場での実施研修をともなう形式とすることとした。また、研修対象は経験年数の比較的浅い検査員を中心に置くこととした。

判定員研修は、平成21年度と同様に東京と大阪で講義形式で開催することとした。

② 検査員研修の構成等

- ・ 1日目の午前は検査に関する一般的な講義とし、午後には実地研修に備えた検査のポイントの確認などを一部グループ形式で実施する形式とした。

- ・ 2日目の午前は実地研修として、圃場または加工場で複数のグループに分かれて実施する形式とした。
- ・ 2日目の午後は、午前の実地研修を受けて、検査報告書の作成のポイントなどを一部グループに分かれて実施する形式とした。

③ 判定員研修の構成等

- ・ 不適合である箇所を予め明確にしておき、その点についてグループで討議し、どのような判断のプロセスで最終的な判定に至ったのかを発表してもらう形式とする。
- ・ 十分に議論を尽くすことができるように、与える情報は極力シンプルなものとする。
- ・ 農産と加工は別グループに分け、計5グループ程度が同時並行で演習を実施する。「加工」は赤城氏、「農産」は加藤氏に講師として対応頂く。

2. 冊子「**実地検査ハンドブック**」

当ハンドブックは、平成15年に作成された「有機 JAS 認定検査員・判定員の技術向上セミナー サブテキスト(特定非営利活動法人日本オーガニック検査員協会)」をを拡充し、有機検査員の検査業務における注意点を一問一答形式にまとめたものである。

また、執筆にあたって、特定非営利活動法人日本オーガニック検査員協会の理事長である丸山氏にご協力いただいた。

(1) **体裁**

A4 版、本文 58 ページ

(2) **構成**

第1章 ISO ガイド 65 に基づく検査の手順

第2章 有機農産物の検査

第3章 有機加工食品の生産行程管理者

(3) **作成部数**

400 部

(4) **配布先**

当該事業で実施する「有機 JAS 判定員研修会」及び「有機 JAS 検査員研修会」の参加者を中心に配布した。

3. 研修会の開催

3.1 有機JAS検査員研修会

有機食品の検査員及びこれらを目指す者を対象に、検査員に必要な知識の習得を目的として研修会を開催した。

実地検査を行い、検査員個人のより実践的な検査能力の向上と斉一化を図ると共に、検査機関同士の意見交換により共通認識を持つことができた。

(1) 告知方法

有機食品の登録認定機関等を通じて検査員への案内を行った。

(2) 開催日程及び参加人数

開催地	開催日	種別	開催場所	募集人数	参加人数
東北 (宮城)	平成22年 11月4日(木) ～5日(金)	農産物	エポカ21 清流の間 宮城県栗原市 志波姫新熊谷 279-2 他	30名	29名
北海道	平成22年 11月9日(火) ～10日(水)	農産物	岩見沢市 コミュニティプラザ 多目的ホール A 北海道岩見沢市 有明町南1番地 20 他	30名	16名
関東 (茨城)	平成22年 12月9日(木) ～10日(金)	農産物	つくば国際会議場 小会議室 303 茨城県つくば市竹園 2-20-3 他	30名	27名
関西 (大阪)	平成23年 1月18日(火) ～19日(水)	農産物	グリーンビレッジ交野 小会議室 大阪府交野市私市 9-4-5 他	30名	14名

関東 (静岡)	平成 23 年 2 月 7 日(月) ～8 日(火)	加工食品	西焼津セントラルホテル 会議室 静岡県焼津市柳新屋 858 他	30 名	17 名
関西 (大阪)	平成 23 年 2 月 16 日(水) ～17 日(木)	加工食品	大阪社会福祉指導センター 研修室③ 大阪府中央区中寺 1-1-54 他	30 名	10 名
九州 (熊本)	平成 23 年 2 月 22 日(火) ～23 日(水)		交通センターホテル 朝顔 熊本県熊本市桜町 3-10 他	30 名	17 名
合計				210 名	130 名



▲講義の様子（つくば）



▲現場実習の様子（東北）



▲演習の様子（北海道）



▲工場実習の様子（大阪）

(3) タイムスケジュール及び講師**【第一日目】**

10:00～10:30 受付

10:30 開会

10:30～12:00 最近の有機 JAS の動向

- 【東北】【関東（加工）】農林水産省 消費・安全局 表示・規格課
有機食品制度班 有機農畜産物係長 加藤 紀江
- 【北海道】特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会
事務局長 加藤 和男
- 【関東（農産）】農林水産省 消費・安全局 表示・規格課
表示・規格専門官 大貝 真弓
- 【関西（農産）】特定非営利活動法人兵庫県有機農業研究会
事務局長 赤城 節子
- 【関西（加工）】農林水産省 消費・安全局 表示・規格課
有機食品制度班 課長補佐 島崎 真人
- 【九州】財団法人自然農法国際研究開発センター
認定事務局長 今井 悟

研修の目的とスケジュール**秘密保持について（秘密保持契約書の提出）**

- 【東北】【関東（加工）】株式会社アファス認証センター
代表取締役 渡邊 義明
- 【北海道】特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会
事務局長 加藤 和男
- 【関東（農産）】財団法人自然農法国際研究開発センター
認定事務局長 今井 悟
- 【関西（農産）】【関西（加工）】
特定非営利活動法人兵庫県有機農業研究会
事務局長 赤城 節子
- 【九州】日本オーガニック検査員協会 理事長 丸山 豊

実地検査の方法

日本オーガニック検査員協会 理事長 丸山 豊

12:00～13:00 昼食（各自）

13:00～15:30 演習①課題「書類審査の実施」

15:30～15:45 休憩

15:45～17:45 演習②課題「検査で見るべきポイントの検討」

17:45～18:00 研修2日目の実地研修の説明

【東北】特定非営利活動法人環境保全米ネットワーク

事務局長 高橋 芳道

【北海道】財団法人北農会 有機農産物検査・認証センター

事務局長 谷口 健雄

【関東（農産）】株式会社アフアス認証センター

代表取締役 渡邊 義明

【関西（農産）】【関西（加工）】

特定非営利活動法人兵庫県有機農業研究会

事務局長 赤城 節子

【関東（加工）】【九州】財団法人自然農法国際研究開発センター

認定事務局長 今井 悟

18:00（予定） 第1日 終了

（敬称略）

【第二日目】

08:30 集合

09:00～12:00 実地研修

【東北】門傳農場

【北海道】佐藤農産

【関東（農産）】オーガニックファームつくばの風

【関西（農産）】中嶋泰人圃場

【関東（加工）】株式会社エムオーエーインターナショナル

静岡製茶工場

【関西（加工）】株式会社和田萬商店 八尾工場

【九州】森田農場

12:00～12:30 移動

12:30～13:30 昼食（各自）

13:30～14:45 演習③課題「情報の共有化と改善指摘事項の作成」

14:45～15:10 演習③の発表・講評

【東北】【関東（加工）】株式会社アフアス認証センター

代表取締役 渡邊 義明

【北海道】特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会
事務局長 加藤 和男
【関東（農産）】財団法人自然農法国際研究開発センター
認定事務局長 今井 悟
【関西（農産）】【関西（加工）】
特定非営利活動法人兵庫県有機農業研究会
事務局長 赤城 節子
【九州】日本オーガニック検査員協会 理事長 丸山 豊

15:10～15:25 休憩

15:25～16:55 演習④課題「検査報告書の作成」

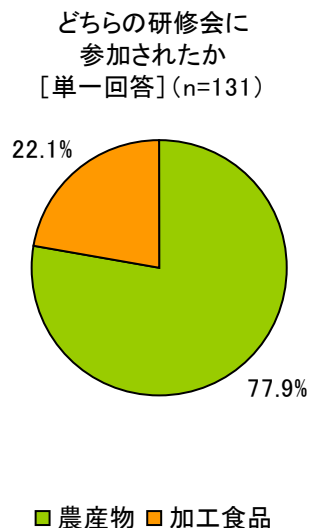
16:55～17:00 ほ場関連資料の回収

17:00（予定）閉会

（敬称略）

（4）アンケート結果

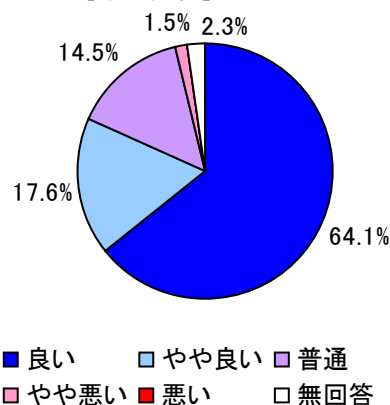
研修会の参加者を対象にアンケートを実施したところ、以下の回答が得られた。
（n=131）



また、研修会の感想を項目ごとに尋ねたところ、以下の回答が得られた。

① プログラム構成 (n=131)

研修会の感想はいかがですか。項目ごとに1つ○を付けてそれぞれ理由をご記入ください。【プログラム構成】
[単一回答] (n=131)

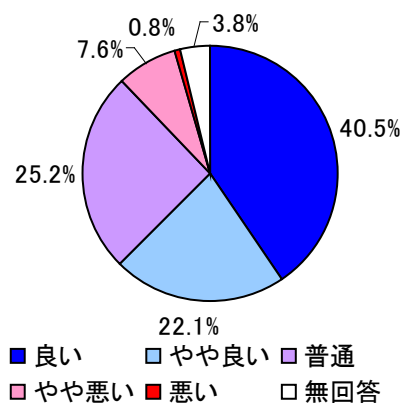


- 初心者向けということでしたが、難しかった。最初の段階でもう少しわかりやすい手順など知りたかった。

- 短時間の研修会構成としては、良と感じました。
- 効率よく実地調査、書類審査のやり方、ポイントを理解できる内容であった。
- 発言する機会が多く、自発的にのぞめる。
- 事前に書類審査で課題を引き出し、次いで現地で実施する手順は理解しやすく良かった。
- 初めての研修参加で理解までいかなかったが、現場に添った内容で良かったと思う。現場がわかった。
- 本当の検査を想定するなら、時間と書類が不足。

② 時間配分 (n=131)

研修会の感想はいかがですか。項目ごとに1つ○を付けてそれぞれ理由をご記入ください。【時間配分】
[単一回答] (n=131)



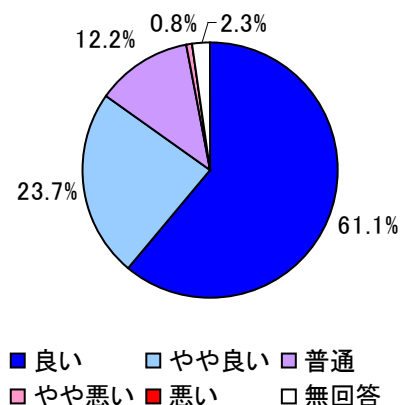
- 全体的に時間不足でした。書類審査を事前に家でやってくる等の工夫が必要。書類審査、実地検査の指摘事項に対する考え方をもっと説明してほしいです。

- 経験の少ない者であっても必要な時間を用意してあった。
- 2日間で検査員の仕事、ひととおり全て体験できた。
- 2日間で中味が濃い。
- もう少し実地研修の時間を長くしてほしい。
- 全体に時間の不足があったが、日程から考えると良かった。
- 書類審査の時間が足りなかった。
- 昼食は、お金を支払ってもよいので、弁当で良いのではないのか？昼食時間はグループ内のミーティング時間に使用できるのでは？

③ 研修内容 (n=131)

研修会の感想はいかがですか。項目ごとに1つ○を付けてそれぞれ理由をご記入ください。【研修内容】

[単一回答] (n=131)

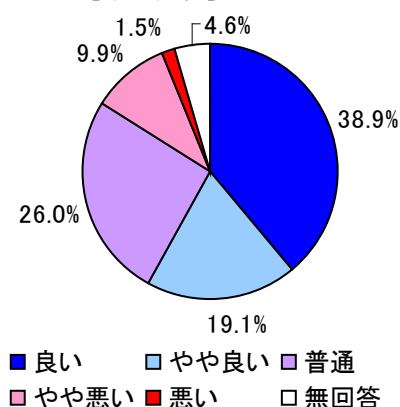


- 具体的事例の演習でおもしろい。
- 実践的な検査を想定した内容の研修会であり非常に参考になった。
- 実地検査ができ、グループで内容が検討できるので勉強になる。
- コメント・指摘が具体的で良かった。
- 認定機関により考え方が異なることがあり、勉強になった。
- 初心者としてはレベルが高かった。
- 検査員の経験がない方も対象にするならば、審査の方法等の説明がなさすぎる。認定機関により考え方が違うので、認定機関の判断にまかせるというのは変。初心者向けじゃない。

④ 資料内容 (n=131)

研修会の感想はいかがですか。項目ごとに1つ○を付けてそれぞれ理由をご記入ください。【資料内容】

[単一回答] (n=131)



- 規格見直しの情報も入っていて良かった。
- サブテキストは例があるので、わかりやすいです。
- 事業者の生きた資料が参考になりました。
- 必要な項目だけ書いてあるので重要な所がわかりやすい。
- 初心者にとっては、役立つ資料が多かった。
- シミュレーションであれば、これぐらいでよい。あまり多くなると、先入観が強くなる。
- 演習の事前資料（どういう資料が作成

されているのか知らされているとすすめやすかった。リストでもよい。）

- 認定機関によって申請の様式は様々なんでしょうが、施設や機械の一覧や地面がなく、現地に行くまで想像できない面があった。

⑤ 今回の研修で学んだことの中で、特に、これからの業務に反映させたいと思う事項として以下の意見があった。

- 事前 Mtg と、終了 Mtg のやり方と内容がとても勉強になりました。評価について、常に技術的基準と有機 JAS 基準にもとづいて明確化するということが今回ははっきりとわかったのがよかった。大きな指針となりました。
- 1.申請管理計画書で何を読み取るのか、実地検査の方法、検査で見るべきポイント等、学ぶ事が出来た。 2.他組織者との交流が図られた。(意見交換) 3.積極的に対応しないとおいでけぼりをくう等、実感した。勉強不足でした。
- 内部規程のみではなく、規格と基準にてらしてどうなのかという点を常に基準として検査を行うことを教わりました。
- 検査における農家対応への心がまえについて。
- 言葉づかい、いいまわし／時間配分の重要性／視野を広く
- 不適合事項、推奨事項の判断基準を検査員の中で統一しなければならないと感じました。
- 初心者研修ですから、検査の手順や検査項目のチェック方法などが必要ではないでしょうか？検査員の検査レベルの向上にむけて、この様な機会を多く持つてほしい。

⑥ 今回の研修で学んだことは、所属する組織等に、いつ、どのようにフィードバックする予定かを聞いたところ、以下の回答があった。

- 報告書を作成し、周知する。具体的な事例を口頭で連絡する。
- 今月、野菜農家の現地調査があるので、それにフィードバックさせます。
- 認定機関の検査員研修のカリキュラムを今回の研修に習って作成してみたい。
- 検査員の勉強会をもっとやって下さいとお願いします。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 検査時に活用することがあったと報告をする。色々な認定機関に所属する生産者の管理しているところの検査も学べるよう機会を増やしてもらいたい。
- レポートの提出は求められてはいませんが、機関内で企画される研修会でのオブザーバー的な会員伝達へ協力して行きたい。

3.2 有機JAS判定員研修会

有機食品の判定員及びこれらを目指すもの（既に検査員としての経験があり、判定業務に一定の知識を有する者）を対象に、多くの事例に接し、共通の判断を学ぶための研修会を開催した。

(1) 告知方法

有機食品の登録認定機関への案内を行った。カリキュラムにグループ演習を盛り込んだ。

(2) 開催日程及び参加人数

会場	開催日	開催場所	募集人数	参加人数
東京会場	平成23年 2月9日(水)	三菱総合研究所 東京都千代田区永田町 2-10-3	60名	75名
大阪会場	平成23年 2月15日(火)	大阪リバーサイドホテル 大阪市都島区中野町 5-12-30	60名	13名
合計			120名	88名



▲講義の様子（東京）



▲演習の様子（東京）

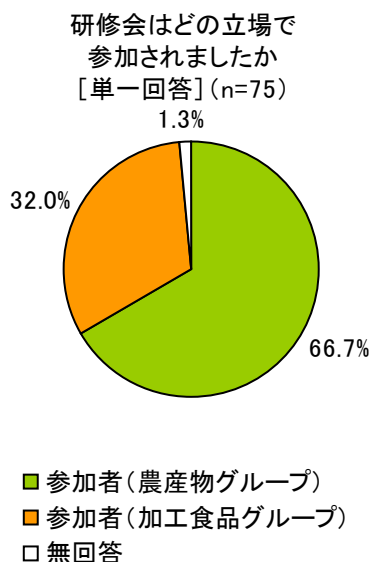
(3) タイムスケジュール及び講師

9:20～	受付
9:50～10:00	開会
10:00～10:20	資材リスト化の検討状況 株式会社三菱総合研究所 システム・マーケティング本部 里田 洋子
10:20～11:30	規格の見直しに関する最近の話題 農林水産省 消費・安全局 表示・規格課 島崎 真人
11:30～12:30	休憩
12:30～13:30	有機登録認定機関における最近の不適合事例及び品質表示基準の概要 独立行政法人農林水産消費安全技術センター 【東京】本部 規格検査部 規格検査課 主任調査官 出島 博文 【大阪】神戸センター 規格検査部 規格検査課 主任調査官 森田 幸博
13:30～17:20	演習 特定非営利活動法人日本有機農業生産団体中央会 事務局長 加藤 和男
17:20～17:30	質疑応答・資料回収
17:30	閉会

(敬称略)

(4) アンケート結果

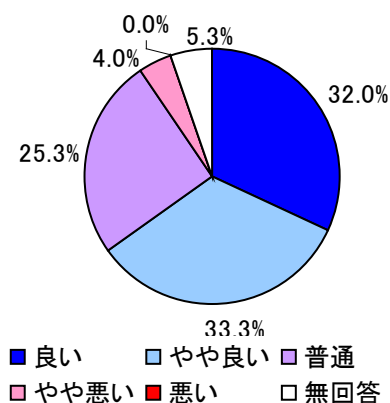
研修会の参加者を対象にアンケートを実施したところ、以下の回答が得られた。
(n=75)



また、研修会の感想を項目ごとに尋ねたところ、以下の回答が得られた。

① プログラム構成 (n=75)

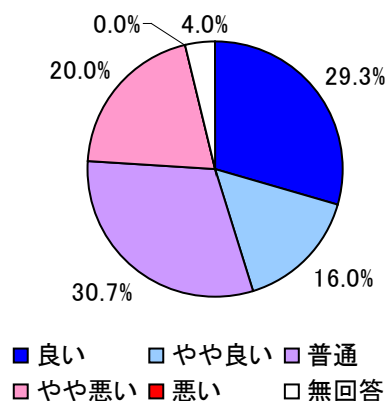
研修会の感想はいかがですか。項目ごとに1つ○を付けてそれぞれ理由をご記入ください。【プログラム構成】
[単一回答] (n=75)



- 不適合の例については非常に勉強になった。
- 最近における新しい情報が適確に構成された内容。
- 現在問題になっているのが何か、今後どう動くのかは良くわかった。
- グループワークがあった点。(良い)
- 基本的には満足。「資材リスト化の検討状況」の講義では、もう少しメリハリのある説明方法であると良かった。
- 総花的であり、もう少し重点的にされた方がよい。

② 時間配分 (n=75)

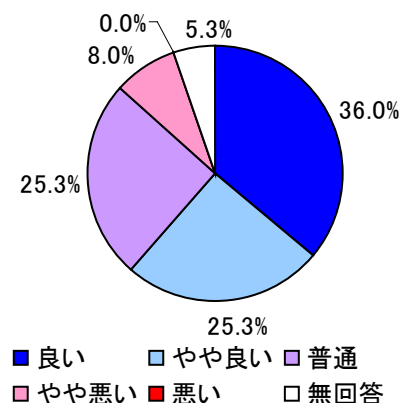
研修会の感想はいかがですか。項目ごとに1つ○を付けてそれぞれ理由をご記入ください。【時間配分】
[単一回答] (n=75)



- 演習の時間が長めで議論することができたので、よかったですと思います。ただし、資料が膨大で読みきれなかった部分があります。
- 演習時間が不足した。
- 演習の資料が多く、読み込む時間が少なかった。
- 時間厳守でおねがいします。
- レクチャー、討論、資料の確認等、時間が短い。
- 不適合事例の時間を増やしてほしい。
- 午後は忙しい中身であった。もう少し、まとめてもらった方がいい。事例を多く聞く機会が多い方がいい。

③ 研修内容 (n=75)

研修会の感想はいかがですか。項目ごとに1つ○を付けてそれぞれ理由をご記入ください。【研修内容】
[単一回答] (n=75)



- グループワークでいろいろな意見が聞かれるのは良いと思う。
- 規格改正や表示についてとりあげられたこと。
- 資料についての検討経過の報告は良かった。
- 「不適合事例」は大変参考になりました。
- 実務に近いものであり、わかりやすかった。
- 演習後の説明は非常に役に立った。
- 規格と基準の適合性にもう少し焦点をあててほしかった。具体的に JAS 規格の第〇条、認定の技術的基準の第〇

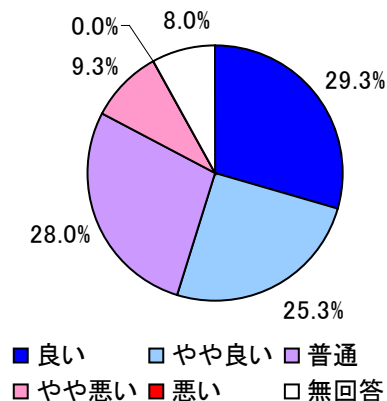
項に適合していないのかの解説が欲しかった。

- 資料リスト化の検討状況は声がこもってしまい、非常に聞きとりにくかった。内容もまだ確定してなければ、正式な事業説明会の開催を待てば良い。
- 野菜ときのこでは見るべき点や考えるべき点が異なる。もう少し、きのこの情報も欲しい。

④ 資料内容 (n=75)

研修会の感想はいかがですか。項目ごとに1つ〇を付けてそれぞれ理由をご記入ください。【資料内容】

[単一回答] (n=75)



- 資料が多く、完全に把握できなかったが、細かい疑問を解くのに役立った。
- 判定演習資料はよかった。
- 最後にポイントとして話をした物も、帰りに資料としてもらえると良い。
- レクチャーの資料は大変分かりやすく、見やすかったです。演習資料については、誤植か指定すべき事項なのか分かりにくい箇所があった。また、担当者名（仮名）が一部適切ではないように感じた。
- 参加証だけ持っている、何時に始まるか分からない（毎年のことですが）。
- 黒ベタは書き込みメモがとりにくく、白地のスライドをお願いする。
- 演習の資料量が多く、読み込みが時間的にきつい。しかし、内容は良かった。

⑤ 今回の研修で学んだことの中で、特に、これからの業務に反映させたいと思う事項として以下の意見があった。

- 新しい規格の考え方、使用可リスト基準の考え方。
- 規格の見直しの現状が分かって良かった。
- 講義では現在の動向や検討ポイントがよく分かったので、今後のフォローアップポイントと当初での業務留意点として、役立つと思われる。
- 不適合業務をしないように気をつけたい。基準に基づく検査認証ということを強調されていましたが、実際の業務では過剰指摘や実務上あまり問題でない点を重大な不適合としたり、ということがあります。そうした例のヒアリングに基づく問題提起、討論がしたいです。
- 基準にないことを要求するなということ。
- 判定員の立場で検査員報告書を見てみると、何が必要で何が不足しているかよくわかる。検査員としての業務に生かしていきたい。
- いろんな認定機関が集まり、それぞれの意見をきくことができたのは、とても勉強になりました。
- FAMIC の不適合事例を参照したい。もう少し詳しく事例の報告を要望。

⑥ 今回の研修で学んだことは、所属する組織等に、いつ、どのようにフィードバックする予定かを聞いたところ、以下の回答があった。

- 判定委員会において概要、感想を説明。
- 検査員研修や認定事業者研修会、日々の判定業務に活かしてゆきたい。
- 検査書類の作成に活かしたい。
- 明日、報告書にてフィードバック。要請があれば報告会を開く。
- 近日中の判定会及び研究会で報告している。
- 今回のテキストは回覧をして周知していきます。

3.3 生産情報公表JAS規格研修会

生産情報公表 JAS 規格の検査員及びこれらを目指す者を対象に、検査員に必要な知識の習得を目的とした研修会を開催した。

(1) 告知方法

生産情報公表 JAS 登録認定機関を通じて検査員への案内を行った。

(2) 開催日程及び参加人数

会場	開催日	開催場所	募集 人数	参加 人数
東京会場	平成 23 年 2 月 10 日(木)	三菱総合研究所 東京都千代田区永田町 2-10-3	50 名	33 名



▲講義の様子①



▲演習の様子②

(3) タイムスケジュール及び講師

13:30～13:40 開会

13:40～14:40 JAS 規格及び認定の技術的基準について

農林水産省 消費・安全局 表示・規格課 島崎 真人

15:00～15:40 生産情報公表 JAS の検査のポイント

有限会社リーファース 代表取締役 水野 葉子

15:40～16:00 休憩

16:00～16:30 生産履歴管理における情報システムの利用

～生産情報公表 JAS 取得事業者への情報システム導入の事例紹介～

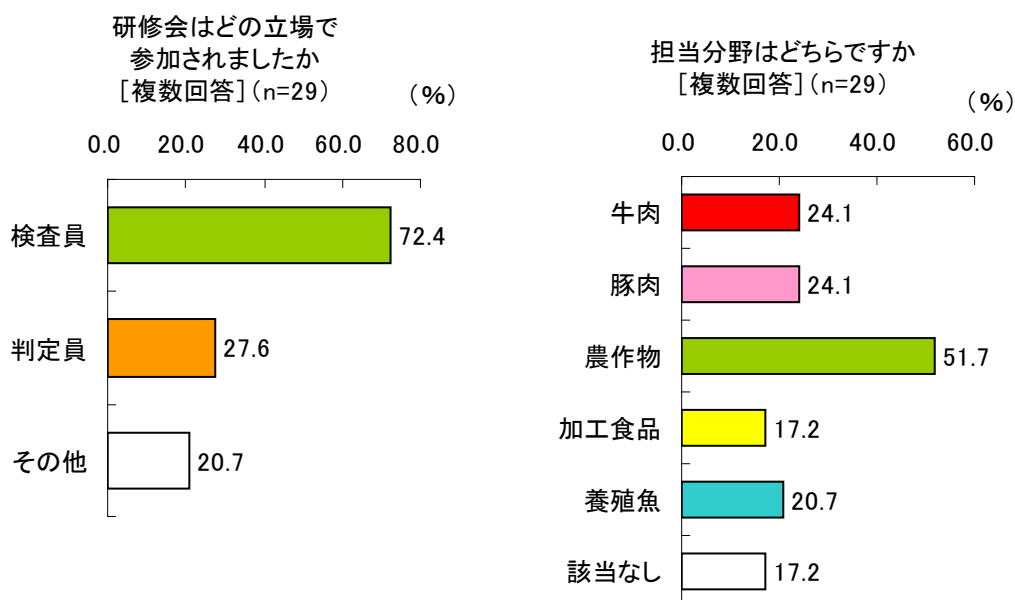
株式会社三菱総合研究所 システムエンジニアリング本部 佐藤 守

16:30～16:40 閉会

(敬称略)

(4) アンケート結果

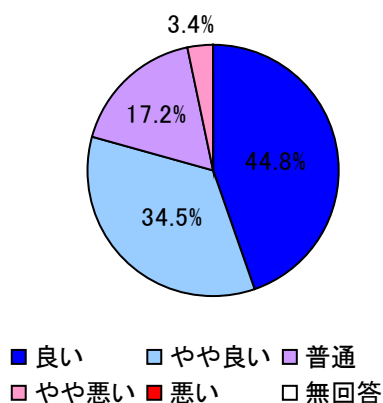
研修会の参加者を対象にアンケートを実施したところ、以下の回答が得られた。
(n=29)



また、研修会の感想を項目ごとに尋ねたところ、以下の回答が得られた。

① プログラム構成 (n=29)

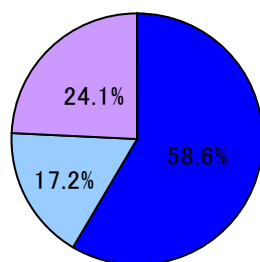
研修会の感想はいかがですか。項目ごとに1つ○を付けてそれぞれ理由をご記入ください。【プログラム構成】
[単一回答] (n=29)



- お話した方々、みなさんとても分かりやすかった。JAS 規格及び検査についても詳しく理解する事が出来た。電子システムの説明は生産者にとって楽になるのではと感じた。
- 生産情報公表 JAS の研修会が1回だけの為か、バランスが良い。
- 農林水産省と認定機関の両方から話が聞けて良かった。
- 島崎さんの説明と水野さんの検査のポイントはメリハリがあって良かった。
- 皆、経験が少ない(チャンスが少ない)ので、Q&A や規格等について、実地での注意点等をききたかった。

② 時間配分 (n=29)

研修会の感想はいかがですか。項目ごとに1つ○を付けてそれぞれ理由をご記入ください。【時間配分】
[単一回答] (n=29)

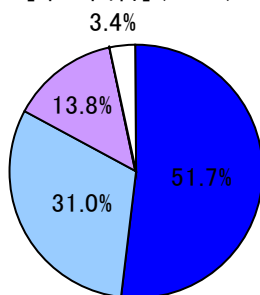


■ 良い ■ やや良い ■ 普通
■ やや悪い ■ 悪い □ 無回答

- 結果的に「検査のポイント」に時間が多くとれたのが良かった。
- 丁度良いと思う。
- 集中して聞くのにはちょうど良い。実習がなく講義のみなので。
- ゆとりがあって良い。
- 休けいが長い。
- 十分と思う

③ 研修内容 (n=29)

研修会の感想はいかがですか。項目ごとに1つ○を付けてそれぞれ理由をご記入ください。【研修内容】
[単一回答] (n=29)



■ 良い ■ やや良い ■ 普通
■ やや悪い ■ 悪い □ 無回答

- 検定員に必要な具体的な内容が聞けた。
- 水野さんの講義を初めてちゃんと聞いたが、とても良かった。同じ内容をベテランの検査員にもリフレッシュの意味でしたら良いかも知れないと考える。
- 今回の講師の方が自分の担当である養殖魚について特に多く説明をされたので。
- 初心者にもわかりやすい内容だった。他の講習は、ある程度以上の経験者を対象としているので、今回の様な内容は助かる。
- JAS システム（基準）についてと、検査のポイントがわかりやすく説明され

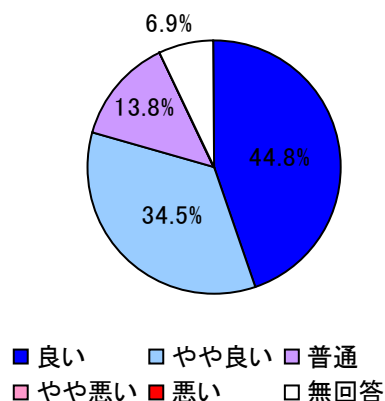
参考になりました。

- 短時間で分かりやすい内容でした。
- 検査員及び判定員の検査員の検査方法の統一 etc.を行って欲しい。
- 具体的な説明もあってはいいのでは。
- 実際の検査についての具体的な説明も聴きたかった。
- もう少し、規格と基準の詳細を説明して欲しかった。

④ 資料内容 (n=29)

研修会の感想はいかがですか。項目ごとに1つ○を付けてそれぞれ理由をご記入ください。【資料内容】

[単一回答] (n=29)



- カラーで分かりやすくまとまっていた。
- 初心者にもわかりやすい。職場に戻って資料を見せるだけでも他の人に内容を理解してもらえと思う。
- 後で見ても十分思い出せる。
- 規格と基準の入ったハンドブックを作っていた。
- 公表 JAS について改めて勉強できる内容だと思います。
- 字が少なく見やすかったと思う。
- わかりやすく良いと思った。
- 少し文字（細かい文字）が多いので、読むのに時間がかかり、どこが本当に重要な所なのか分かりづかった。

⑤ 今回の研修で学んだことの中で、特に、これからの業務に反映させたいと思う事項として以下の意見があった。

- JAS 以外の審査においても今回の内容（検定員）は生かせる。
- 生産情報公表 牛肉・豚肉は格付率が低く、規格自体に疑問があったが、他の養殖魚や農産物で有効に活用されていることがわかり、少し希望が見出せた。
- 取りくみのメリットを伝える。
- 認定取得者の声。
- 判定員として仕事をしているが、水野氏の説明で、検査員のあり方、苦勞などが分かった。検査員と対話する際に反映させたい。
- 検査の手順について。
- 検査時の心構えや、おすすめポイントなど数点参考になる事がありました。
- 養殖場に行く時は、朝ごはんを食べないで行くようにする。
- システムの紹介が非常に興味深かった。
- パソコンでのシステム管理は事業者さんと検査員、相互で進める必要があると思いました。

⑥ 今回の研修で学んだことは、所属する組織等に、いつ、どのようにフィードバックする予定かを聞いたところ、以下の回答があった。

- 来週月曜日のミーティングで議論する。
- 判定員の業務の中で役立たせる。
- 作成する検査報告書を充実させることでフィードバックしたい。
- 後日、資料を認定機関に（写しを）渡す。
- 今後、頂いた資料にて周知を図る予定です。
- 生産情報公表 JAS の宣伝をし、消費者からの信頼を得る認証につながっていけるよう努められればと思いました。